

公共施設包括管理業務委託の導入に向けたサウンディング型市場調査公表について

1 サウンディング実施の目的

高岡市では、民間のノウハウを活かした合理的な公共施設の管理を行うため、包括管理業務委託の導入可能性について検討を進めており、民間事業者との「対話」を通じて、包括管理業務委託への参入意欲、必要な要件等を把握し、本市における導入の検討材料とするため、サウンディング型市場調査を実施しました。

なお、公表にあたっては、参加事業者のノウハウに配慮し、事前に参加事業者の承諾を得た内容のみを公表します。

2 実施内容

実施時期 令和5年4月24日～令和5年4月28日

参加事業者数 9社

3 結果の概要

(1) 参入意欲について

①公募型プロポーザルを実施する場合の参加意欲について

ある 5社 ない 0社 検討中 4社

②参加する際、単独またはグループいずれの予定か

単独 3社 グループ 1社 検討中 5社

(2) 包括管理業務委託のメリット・デメリットについて

①メリット

- ・施設の維持管理の均一化が図れる。
- ・専門的な知識や技術を持つ業者による適切な管理・保守が可能。
- ・定期的な巡回点検により、施設や設備の監視・安全を確保できる。
- ・契約窓口の一本化により、各施設所管課担当者の業務効率化が図れる。

②デメリット

- ・市職員の技術継承機会の減少（ただし、研修機会の提供で対応可能）
- ・全業務の取りまとめや契約を行うためのマネジメント費が発生する。

(3) 本市の提案する対象施設及び業務範囲・業務量について

全て受託可能 4社 一部受託可能 5社 受託不可能 0社

一部受託可能な場合の要件について

- ・設置者（市）と維持管理事業者の直接契約が必要な自家用電気工作物管理については、包括管理事業者は支払代行業務の対応となる。
- ・清掃や警備のような常駐者を配置する業務は、包括管理委託業務に馴染まないため対象外とすることが望ましい。
- ・共同調理場の衛生部分は、入室のために検便等を実施する必要があり、緊急対応が難しい場合があるため、対象施設に含めない方が望ましい。

(4) 業務の履行体制について

①休日や夜間の業務体制や災害発生時などの緊急対応等について

- ・コールセンターを設置し、24時間365日の体制を構築。
- ・コールセンターと現地従事者の当番制を併用し、24時間365日の体制を構築。
- ・夜間休日は緊急受付体制のみ。災害時は所管支店並びに本社からの増援体制で復旧に寄与。

②定期点検や修繕の報告の手法について

- ・リアルタイムによる報告を実施。（定例的な打ち合わせも併せて実施）
- ・業務実施後の都度報告及び月1回の定例会議を想定。

(5) 市内事業者等の受注機会の確保について。また、自社で工夫している内容について

- ・可能。併せて市内事業者のデジタル化を支援する。
- ・可能。ただし、受託する市内事業者側の理解が得られるかによる。また、自社の管理物件で事業者の活用が検討できる。
- ・可能な限り現行業者に合理的な条件での協力体制を構築。自社独自の評価基準を十分に満たした優良事業者については、高岡市以外の施設における業務も優先発注することにより市内産業の振興に貢献できる。
- ・可能。併せて市内受注率の向上を目指す。

(6) 付加価値提案について

- ・参加事業者のノウハウに配慮し、非公開。

(7) 契約期間について

- ・5年が望ましい。